

事業名	平成 17～21 年度の 目標	近年の状況	評価及び反省点	担当 課名
子育てひろば(育児 相談)	「ごっくんくらぶ」、「子 育てひろば」、「すくすく ひろばの開放」において は、一部の地域では高齢者 を対象としたサロンで子 どもたちとの交流を図っ たり、地域の民生委員が公 民館で母子との交流を図 ったりしているところも ありますが、その全てが自 主的なものとはいえない 状況です。今後、参加者の 自主的な活動となるよう 支援していきます。	引き続き、継続して実施 しています。	妊婦健診の助成が14回 に増えるなど、経済的支援 は充実してきましたが、子 育て応援事業の参加者の 増加には必ずしも繋がっ ていません。	健 康 福 祉 課
すくすくひろばの 開放		引き続き、継続して実施 しています。子育て広場と あわせ、参加者がやや頭打 ちの状況です。		
すこやかぶっくの 配布	今後、活用方法の検討を 行っていきます。	引き続き、継続して実施 しています。毎年度、内容 を検討し、時勢に合った情 報を掲載しています。		
乳幼児健診	今後受診率の向上に努 めるとともに、健診時の待 ち時間の短縮や有効利用 等の改善に努めていきま す。 また、育児に関するアンケ ート、統計等、既存の情報 の活用にも努めていきま す。	引き続き、継続して実施 しています。平成 19 年度 より子育て支援センター も連携。健診の待ち時間な どを利用し、子育ての相談 に応じています。また、平 成 20 年度より健診時間 帯を午後から午前中に変 更しています。また、21 年度よりフッ素塗布を希 望者に対し実施していま す。	担当保健師、医師、歯科 衛生士などが連携して、適 切な健診が引き続き行え ています。待ち時間の短 縮や情報提供にはまだ検 討の余地があります。	
予防接種事業	対象者に対しては個別 通知を行い、予防接種の勧 奨を行っています。	平成20年度より時間帯 を午後から午前中に変更 して実施しています。	適正な事業が実施でき ています。	

事業名	平成 17～21 年度の目標	近年の状況	評価及び反省点	担当課名
家庭訪問、健康相談	今後、他機関との連携強化や地域全体の支援体制の整備に努めていきます。	引き続き、継続して実施しています。	適正な事業が実施できています。	健康福祉課
離乳食講習会	今後も引き続き事業の実施に努めていきます。	引き続き、継続して実施しています。	食育推進の観点からも、参加者の事業内容に対する評価はおおむね好評ですが、参加者の固定化の傾向にあります。	



(2) 食育の推進

事業名	平成 17～21 年度の目標	近年の状況	評価及び反省点	担当課名
佐川町食生活改善推進協議会	今後も、健全な食生活を実践できる子どもを育てるため、活動を継続していきます。	食育への関心が広がるなか、教室や各イベントへの参加等を通じ、精力的に食育の推進を図っています。	適正な事業が実施できています。	健康福祉課
さかわ地産地消推進協議会	今後も地産地消の取り組みを通じて、食育を推進していきます。	地産地消推進計画に基づき、地産地消による豊かな地域実現を目指し、地域と共に協働で進める体制として、地産地消推進店（事業所）の認定制度を創設し啓蒙啓発を行っています。	適正な事業が実施できています。	産業建設課
親子料理教室事業	今後も引き続き事業を実施していきます。	引き続き、継続して実施しています。	適正な事業が実施できています。	教育委員会
各保育所（園）での取り組み		引き続き、継続して実施しています。	各組織が創意工夫を凝らし、取り組みを行っています。	健康福祉課
民間組織等の取り組み	今後、これらの各組織と連携しながら食育の推進に努めます。	引き続き、継続して実施しています。		産業建設課

(3) 思春期保健対策の充実

事業名	平成 17～21 年度の目標	近年の状況	評価及び反省点	担当課名
思春期保健対策の充実	学校と連携し思春期の学童・生徒に対して性に関する健全な意識が持てるように、生命の教室やふれあい体験を通して性や性感染症予防に関する正しい知識の普及を図っていきます。	各事業との兼ね合いもあり、健康福祉課の事業としては実施ができていません。各学校が独自に取り組んでいます。	学校独自での取り組みは評価できますが、県福祉保健所・町健康福祉課など関係機関の連携は不十分な点があります。	健康福祉課

(4) 医療体制の整備

事業名	平成 17～21 年度の目標	近年の状況	評価及び反省点	担当課名
医療体制の整備	産婦人科の早急な再開に向け、関係機関に対する働きかけに努めていきます。	産婦人科を再開、また 21 年度には土曜日診療（午前中）を開始。医師確保の問題を始め、地方病院の厳しさが増すなか、創意工夫により地域の基幹病院として役割を果たしています。	医師確保など、厳しい状況が続くなか、可能な取り組みを行っています。	高北病院

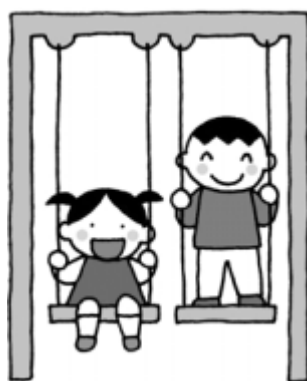
3 子どもの教育環境

(1) 次世代の育成

事業名	平成 17～21 年度の 目標	近年の状況	評価及び反省点	担当 課名
人権尊重の啓発	今後も事業を継続し、人権尊重の啓発を通じて次世代の育成に努めます。	高岡地区教育委員会連絡協議会における人権教育部会で情報交換や研修で知識と技能を深めています。 小・中・高で人権に関する作文を夏休みの宿題とし、人権まちづくり発表会を実施しています。夏の「少年の主張」でも人権に関する内容が多くあります。 ポスターや啓発チラシは県から送られてくるものを配布しています。	児童・生徒や教育関係者には啓発活動が定着していますが、一般成人への啓発には課題があります。	教育委員会
小・中学生への働きかけ	これらの活動を通じて、小・中学生に対し、自らも親となる自覚を育て、子育ての意義や命の大切さを学ぶ機会の拡充を図ると同時に、子育ては男女共同の営みであるという認識を育てていきます。	各学校が県福祉保健所に資料を提供してもらいながら「いのちの教室」を実施しています。	関係組織が連携して現状にあった取り組みを推進する必要があります。	健康福祉課

(2) 子どもの生きる力の育成に向けた学校教育環境等の整備

事業名	平成 17～21 年度の目標	近年の状況	評価及び反省点	担当 課名
子どもの生きる力の育成に向けた学校教育環境等の整備	「生きる力」とは、自分で課題を見つけ、自ら学び、考え、主体的に判断・行動し、よりよく問題を解決できる力であり、自らを律しつつ他人と協調し、他人を思いやる心や感動する心など豊かな人間性とたくましく生きるための健康と体力でもあります。この「生きる力」を育めるよう、地域や学校等の関係機関と連携した取り組みを推進していきます。	校舎の老朽化と通学路事情により、教育環境改善が望まれていた佐川中学校の移転改築工事が平成 21 年 8 月に完成。明るい環境で、のびのびとたくましい人間が育つことが期待されます。	長年の懸案だった佐川中学校の移転改築は大きな成果といえます。	教育委員会



(3) 家庭や地域の教育力の向上

事業名	平成 17～21 年度の目標	近年の状況	評価及び反省点	担当課名
家庭や地域の教育力の向上		三野地区では、元先生が中心となり年間を通じた様々な教室を展開しています。 黒岩放課後子ども教室では、地域の方々とともに案山子づくりに取り組み昼食もともにしました。 さかわ読みっ子応援団では、絵本の読み聞かせのほか絵画や版画の教室を開催しています。 PTA では、教育力向上をねらって研修会や講演会を開催していますが、参加者の低迷が続いています。また学校では保護者との連携を強めるため懇談会を持とうとしていますが、これも参加者が少ない状態です。 保護者との意思疎通を持つために、連絡帳など利用しながら学校教育への関心を高めています。	それぞれの地域、団体での取り組みは成果を挙げっていますが、保護者との連携などには課題があります。	教育委員会

事業名	平成 17～21 年度の 目標	近年の状況	評価及び反省点	担当 課名
青少年育成 町民会議	今後も現在の活動を引 き継ぎ、更なる活動の充実 に努めます。	青少年がそれぞれの生 活領域において、社会の一 員としての自覚のもとに 自立していくことを尊重 するとともに、適切な指 導・援助を行いながら青少 年の健全育成と非行防止 に努め、すべての青少年が 心身ともに健やかで希望 に満ちた明るい社会生活 を送れるよう推進してい ます。 具体の活動としては、講 演会への助成、安全対策の 推進、少年の主張佐川大会 の開催、各種教室開催等 を行っています。	町の補助金を活用しな がら、様々な活動に取り組 んでいます。	教育委員会

(4) 子どもを取り巻く有害環境対策の推進

事業名	平成 17～21 年度 の目標	近年の状況	評価及び反省点	担当 課名
青少年補導 育成センター	今後は現在の活動を引 き継ぎながら、問題を抱え る子どもと常に関係を持 って支援し、中学校卒業後 も効果的に対応できるよ う、学校と一体となって活 動を推進していきます	新入生（小学）へ「防犯 ブザー」の配布を行ってい ます。 また、火曜、木曜を中心と した防犯パトロールや、補 導センター職員・警察職 員・学校補導員による第 2、第3木曜の「夜間補導」 を行っています。 不審者情報については、連 絡網による連携を行って います。	継続的な取り組みによ って、青少年の非行防止に 関する活動の中心的役割 を担っています。	教育委員会

4 子育てを支援する生活環境

(1) 子育てに適した居住環境の確保

事業名	平成 17～21 年度の目標	近年の状況	評価及び反省点	担当課名
子育てに適した居住環境の確保	今後、危険なものは撤去する方向で対応します。 公園・緑地の整備（草刈り等）については年に 1 回業者に委託をしていますが、効果が十分ではありません。 今後は、地域住民と一体となった整備のあり方を検討していきます。	公園の遊具等については、定期的に点検を行うなど、適正に管理しています。斗賀野地区に民間事業者によって公園が整備されるなど、行政以外の取り組みも行われています。	行政よりも地域の住民・企業主導での事例が見受けられることは、これからのモデルとして評価できる取り組みです。	総務課

(2) 安全な道路交通環境の整備

事業名	平成 17～21 年度の目標	近年の状況	評価及び反省点	担当課名
安全な道路交通環境の整備	今後も地域住民と連携しながら、道路交通環境の整備に努めていきます。	町道等の維持修繕については、限られた予算のなかで、地域住民が主体となり、材料を町が支給するなど、行政と住民が協働する仕組みが定着しつつあります。	働での取り組みが定着しつつある一方で、道路関係予算はここ数年で激減しており、道路環境整備に影響を及ぼしています。	総務課